

丹波篠山市立西紀中学校 学習や生活に関する学力向上プラン【3年生】

【丹波篠山市学力・生活習慣状況調査の概要】

○本校3年生の全体的な状況

- どの設問項目においても、肯定的な回答をしている生徒が多く、おおむね良好な結果が見られました。全国平均と比較しても、ほとんどの項目で全国平均より高い肯定率を示しています。
- 特に、【学級の絆】【学級の規範意識】【社会参画】の設問項目で、高い肯定率を示しており、学校行事や学年行事等を通じた学級づくり、学級リーダーを中心とした自主的・自律的活動、一人ひとりを大切にした学習支援に継続して取り組んできた成果だと考えられます。【友だちのささえ】【いじめのサイン】の設問項目に対しても、肯定率が高く、「今のクラスが好きですか。」という設問に対する肯定率は100%でした。生徒たちにとってクラスが、周囲からのささえを感じ、いじめのない安心できる場所になっていると考えられます。また、人権・道徳の授業において、社会的な課題に目を向ける学習を通して、社会参画の意識が高まったと考えられます。一方で、【対人ストレス】の設問項目に対する肯定率が、全国平均よりやや低く、友だち関係に不安を感じている生徒も見られました。
- 【家族のささえ】の設問に対する肯定率が高く、「家族は自分の気持ちを分かってくれ、自分の頑張ったことを認めてくれる」「家は心が安らぐ場所である」と感じています。
- 「先生は頑張ったことを認めてくれる」「あなたの気持ちをわかろうとしてくれる先生がいる」という設問に対する肯定率はほぼ100%です。定期的な教育相談だけでなく、個別のかかわりを通して、教師との信頼関係を築くことができています。

○課題と対応

国語

全体の正答率は全国（県）平均とほぼ同じでした。自分の意見を書く問題については、特に正答率が高く、主体的に取り組んでいる姿勢がうかがえます。「国語に対する関心・主体的に学びに向かう力」の観点では、目標値・全国平均を大きく上回っています。特に課題が見られた「話し合いの内容について」は、話し合いの目的を念頭におきながら、発言者の意図や理由を聞き分け、整理・要約する能力を高めたいと考えています。その上で、話し合い活動の経験を意図的・計画的に設定することを大切にしていきたいです。少人数から学級全体など、様々な場面において話し合う経験を積ませる学習活動を工夫していきたいと考えています。

数学

全体の正答率は全国平均をやや上回る結果となりました。「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」「数量や図形などについての知識・理解」のすべての観点において、正答率が全国平均をやや上回っています。グラフやデータから必要な値を読み取る力についてはありますが、事柄の必要性や意味の理解、事柄を数学的な表現を用いて説明する力に課題が見られます。今後は、単なる解法暗記で解答を導くのではなく、既習事項を用いて互いに説明する場面を多く取り入れ、数学的な思考力を高める活動をしていきたいと考えています。

○保護者のみなさまへ

昨年度と同様に、周囲の人からの支えに関する質問において、肯定的な回答をしている生徒がたいへん多く見られました。すべての生徒が、家族からの愛情・支えの上に、友だちや教師から支えを感じており、安心して学校生活を送ることができています。友だち関係に不安を感じている生徒に対しては、今後も、「いじめアンケート」や教育相談等を通して、生徒に寄り添っていきたいと考えています。

「今の一番の悩み」として、「勉強のこと」をあげている生徒が約63%あり、約60%の生徒が「学習が難しくなった」と感じています。一方で、平日の学習時間（塾を含む）は、昨年度と大きく変わらず、テレビ・ゲームに費やす時間が2時間以上の生徒が約77%と、家庭での学習習慣に課題が見られます。これまで部活動等に使っていた時間の使い方を含め、ネット・SNSを使う時間についてもあわせて、学校でも継続的に指導を進めていきます。ご家庭でも、家庭での時間の使い方について、再確認や指導をよろしくお願いいたします。